

第3章

顧客の全体像を把握する 10本ノック

データ分析の醍醐味は、何とんでも、現在のデータから未来の予測が可能になることです。更に言うならば、現状を分析することで、問題点を把握し、より良い未来に変える最適な施策を実施できるようになるのです。

未来を予測する手段として、さまざまな分析手法が提案されています。しかしながら、実際は、データを適切に加工して可視化するだけでも多くの情報が得られることが多く、結果の出せるデータ分析エンジニアは、そうした適切な加工技術を駆使しています。本章では、機械学習を行う前段階の、人間の手による分析を適切に行うためのデータ加工技術について学び、顧客行動の分析、把握を行っていくノウハウを習得します。これによって、今、取り扱っているデータがどのようなものであるかを把握することができ、どのような機械学習の手法を用いれば良い結果が出せるのかを判断できるようになります。それでは、これまでと同じように、「顧客の声」と「前提条件」を確認し、データの読み込みを行っていきましょう。

- ノック21：データを読み込んで把握しよう
- ノック22：顧客データを整形しよう
- ノック23：顧客データの基礎集計をしよう
- ノック24：最新顧客データの基礎集計をしよう
- ノック25：利用履歴データを集計しよう
- ノック26：利用履歴データから定期利用フラグを作成しよう
- ノック27：顧客データと利用履歴データを結合しよう
- ノック28：会員期間を計算しよう
- ノック29：顧客行動の各種統計量を把握しよう
- ノック30：退会ユーザーと継続ユーザーの違いを把握しよう